



グッドキャリア企業アワード2022

イノベーション賞

[厚生労働省人材開発統括官表彰]

株式会社ダイムワカイ



株式会社ダイムワカイ

評価の ポイント

「職務」「能力」「目標」「キャリア支援（能力開発）」を
見える化し、身に付けるべき知識・スキルを明確にした職人
の給与制度「大夢道」を導入して、人材育成を推進

経営者からのメッセージ

この度は「イノベーション賞」という素晴らしい賞の受賞に至り大変うれしく思うとともに、社内での取組をご評価していただいた事を光栄に存じます。今後も現状に満足せずより一層人材育成に努力してまいります。



代表取締役社長
石川 孝一

企業概要

事業概要：建築板金業
(金属屋根材の製造・販売・施工)

業 種：職別工事業
所 在 地：京都府京都市
従業員数：90人(男性52人/女性38人、
うち非正規雇用2人)
平均年齢：39.2歳
創 業 年：1947年

キャリア形成支援担当者紹介

キャリア形成支援の取組をして良かったこと

教えて育てる、学んで成長するということが実を結び、若年者の雇用確保、定着率UPに繋がっていること。

キャリア形成支援の取組で苦労したこと

会社、社員の両面から支持され、尚且つ理解しやすく、取り組みやすい仕組みづくりをすること。



社長室 室長
山中 潔
担当年数：8年

取組をはじめたきっかけとこれまでの経緯

慢性的な人材不足のなか、キャリア支援においては、中途採用者のスキル、社員個人個人の自助努力に頼っていたというのが現状でした。ただ、限られた人員の中で育ててくるのを待つのではなく、「一人の百歩より全員の一步」という社長の考えのもと、「育てる」ではなく、全員と一緒に成長していける仕組みを構築出来ないかというのが始まりです。そして、最も重要視したのが「それってワクワクするか」という会長の言葉です。

具体的な取組

4つの見える化

「ワクワクする」ためには、単純明快であることが必須となるので、「職務」、「能力」、「目標」、「キャリア支援（能力開発）」4つの見える化を大切にしております。その一つが、職人の給与制度に導入している「大夢道」で、柔道・華道といった「道」の概念を取り入れ、10級から参段までの身に付けるべき知識・スキルを明確にしております。また、4級以上は、管理職として黒帯なら制服を黒味のかかったものに変更することで、より強く上への憧れが目に見える仕組みとしております。何を教えればよいか、何を身に付けるべきかを「見える化」したことで、職人の世界の「技術は見て盗め」という概念の払拭に努めております。



▲大夢道試験の写真

取組の効果

教育（学び）は、不可能を可能に

「単位制の企業内大学制度」においては、当初受講生であった幹部社員が講師に、職人においても「大夢道」での育成成果で登録基幹技能者が5名（内3名は職業訓練校指導員免許取得）と、全員で学び成長していけるようにと始めたキャリア支援が結果的に、良き指導者を育てております。その結果、「このようなことも知らないの」ではなく、「これまだ教えてなかったね」といえる社風が醸成されております。

今後の課題と展望

建築板金業の認識度アップ

「現場仕事を希望する人自体が少なく、雇用が出来ても、仕事の面白さを感じるまでに辞めてしまう」これが業界の抱えている問題であり、課題といえます。そのような環境の中、若年者の雇用促進、定着率アップのための大きな柱として「キャリア支援」があると考えております。求人間口を広げるためにも、建築板金業とは何かを知ってもらうことが必要で、今回職人育成システムの「大夢道」を評価頂けたことが大変な励みになります。

社員の声

Q1

自身のキャリアを考えるきっかけ（制度・出来事など）とは？

Q2

その後、取り組まれたことや起こった変化とは？

Q3

築いたスキルを今後どう活かしていくか、または将来ありたい姿とは？



東日本事業部 係長
原 亜友美

A1

新卒で入社し、建築に関わる知識が一切なかった私が、社内での勉強会などが充実していたことで自信をつけることができ、大阪への転勤が決まった時に、今まで以上に自身のキャリアについて考えるようになりました。

A2

学んだことは即実践を心がけるようにしておりました。実践することでさらに何が足りないのかが明確になり「知らないことがまだこんなにもあるのか、楽しいな」という気持ちに気づくことができました。

A3

今までの経験を糧と一緒に働いているチームの皆に力添えをしていけたらと思います。これからは一人一人の個性を大事に働きやすい環境を作っていけたらと思っています。



滋賀事業所 施工部
北川 大樹

A1

2013年に短大卒業後入社し、日々漠然と早く一人前になりたいと技術習得に動いていたのが、2016年に板金学校への派遣制度の1期生として、2年間学校に通わせて頂いたことが、きっかけとなりました。

A2

板金学校卒業後受験した技能検定2級で知事賞を頂いたことが大きな自信となり、その後1級に合格し、大夢道の試験でも順調に昇級し、形として目に見える目標を立て、クリアしてきたことで、技術習得も進んでいます。

A3

今後は、基幹技能者登録、職業訓練指導員免許取得等をクリアし、人に教える喜びも味わいたいが、指導者というより、後輩と共に学び、修練を積み上げていくことで、自身はもちろん、チーム全体の成長を目指します。